



師走、2学期もあと少し！

あっという間に、12月も半ばになり学期末が迫ってきています。気温的には例年とは少し違った年末ようですが、冬至も近づき朝夕の冷え込みには、本格的な冬の到来を感じさせられます。

さて、小学校では10月以降に教育活動がほぼ全面的に再開され、この2か月余りの期間には「学校・学年行事」や「学習活動における様々な取組」が「ここぞとばかり」に繰り広げられてきました。児童も教職員も忙しさに追われ、時には肉体的な辛さを覚える時期もあったのではないかと思います。しかし、学校を身体に例えるなら、忙しい時期というのは『血流』がみなぎっている時・生き生きと活動している時なのです。制限や制約で『流れ』を抑制されていた9月以前に比べると、心地よい疲労感とともに、楽しさや充実感・満足感をしっかりと味わうことができた時期でもありました。

今のところ、新型コロナウイルスの新規感染者の数は減少したままの状態が続いています。少なくとも2学期末までは、今の勢いのまま正常な教育活動が続けられそうです。学習のまとめや友達との結びつきの深化を進めていきたいと考えております。保護者・地域の皆様におかれましては、今後ともご支援ご協力をよろしくお願い致します。

今回の校長室だよりも、教育活動再開後の行事・イベントの紹介を中心としたものになります。一つ一つの活動をたくさん提示することはできないのですが、子ども達の頑張りや学校の取組を少しでも知っていただけたらと思っています。

2年・生活科「芋ほり」(11/2)

今年も、ボランティアの方々の協力を得て芋ほりが行われました。児童たちは、思いのほか深く埋まった芋に悪戦苦闘しながらも、頑張って掘ることができました。



作業の様子



満足気な児童達

低学年の遠足

「フォレストパーク・ドイツの森」(10/29)



班ごとに園内散策



美味しいお弁当

本来は、10月1日に福山動物園行き先として計画していたのですが、まん防措置解除の翌日ということで、行き先を県内に変更し月末まで延期しての実施となった「待ちに待った」遠足でした。

秋風の中を、低学年児童たちは思う存分に歩き回り、動物や植物とのふれあいやポイント巡りの活動をグループごとに行い、自然の中で時間を過ごしました。

お昼には、愛情のこもったお弁当とお気に入りのおやつ、さらに森林の新鮮な空気でお腹を満たしました。

帰りのバスに乗る前には「もう帰らんといいんの?」「もう少しここにいたい〜!」という声を多く聞きました。(バスでの移動に時間がかかるため、ドイツの森での滞在時間が短くなってしまいました。)ちょっと可哀そうな気になりました。やはり、いろんな所にしわ寄せが…。「コロナの野郎。早くあっち行け〜!」



動物とのふれあいち

観劇会(11/5)

エネオス株式会社・水島製油所様による地域貢献活動の取組として、3年前からご提供の打診を受け、毎年計画を進めてはコロナ禍の影響による延期を繰り返していた、劇団「風の子」による演劇の鑑賞会を、やっと実現させることができました。

密を避ける措置として、3学年ごとの2回公演とし、『自然との共生』をテーマにした“風の少年シナド”という作品を鑑賞しました。久しぶりの生の演劇に、子ども達は目を輝かせながら舞台上で切り広げられる熱演に見入っていました。



稲刈り(11/13)

放課後子ども教室の活動として、今年も稲刈りを実施しました。参加した子ども達にとって、“稲刈り鎌”を使っての刈り取りは、本当に貴重な体験です！



植物は正直？

植物は敏感なのでしょうね。異常気象のせいなのか、今年ほどどんぐりが少なく、落葉の時期も例年より随分遅れていました。

その落ち葉は今が真っ盛りで、今週の「落ち葉拾い週間」では、児童が大活躍していました！

学芸会(11/25)

昨年度は、開催を断念した「学芸会」でした。しかし今年も、感染症対策として①「全学年体育館(広い場所で間隔を空けて)での発表」②「音楽・呼びかけ等、短時間(練習についても)での内容」③「保護者・児童を完全入れ替え制にしての実施」等の工夫・措置をとって実施しました。七折八折の発表になりましたが、子ども達は精一杯頑張っていました。お疲れさまでした。

19 かの時間の発表にありがとうございました。すこも達は稍一竹頃旅つしいにこたいま9。おしい
中、ご来校・ご観覧くださった保護者の皆様の温かいまなざしも、大変ありがたく思えました。

※ 本番の様子は、年度末に発行される「PTA新聞・あさひがおか」に掲載される予定です。この紙面では少しだけ紹介したいと思います。

1年生の発表の様子



2年生の発表の様子



3年生の発表の様子



4年生の発表の様子



5年生の発表の様子



6年生の発表の様子



校内研究授業・2年い組にて (12/2)

9月末までは、保護者も含め外部からの来校者を受け入れられなかったため、校内での研究授業も教職員のみで進めていました。先日(2日)、1学期以来久々に外部講師(ノートルダム清心女子大学准教授:杉能道明先生)を招いての研究授業・校内全体研修会を行うことができました。

我々教師は、「子供達にとって分かりやすい授業」「主体的な学びとなるような授業」の実践に向け、日々努力を積み重ねなければなりません。自己の資質能力を高める上ではコロナ禍は関係ないのですから! 今後とも、校内・校外を問わず様々な研究・研修に積極的に参加し、自己を高めるようにしていきたいと思えます。



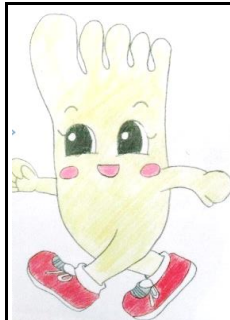
新キャラクター紹介!



「たしかめくん」

運営委員会による児童への募集で、以前からある「ろうか・かいだん歩行キャラクター、歩歩ちゃん(ほほちゃん)」の友達として誕生しました! 寒くなると子ども達は、廊下や階段をついつい走ってしまいます。

旭丘小の全員が、「たしかめくん」のように、ゆったりと安全に歩行できる学校になるといいですね!
(児童のアイデアは無制限!)



「歩歩ちゃん」

「何とかこのまま・・・」の思い

2学期も残り少なくなりました。2学期を前半後半に分けると、正に天と地ほどの違いがあったように思えます。前半(8月末~9月)は、「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」の影響によって、夏休みの延長に始まり、プール学習の取りやめ、参観日の中止等、「制限・制約」ばかりの学校生活でした。一転して後半(10月~12月)は、それまでできていなかった活動(日帰り修学旅行・日帰り山の学習・遠足・学芸会等)を集中させて一気にこなしていくような、目まぐるしい日々でした。

「静」と「動」の両極端を味わった感じのする2学期でしたが、どちらかが選べるとしたら、やはり後半の「動」になるでしょうね。学校ってやっぱり、子どもや先生方、保護者や地域の方々が動き回り交流し合っこそ、価値のある場所なのだろうと思えます。

これから、学期末・年末年始を迎え、冬休みをはさんで3学期に向かうこととなりますが、今現在の感染状況が一日も長く続くことを願わずにはいられません。巷では、「オミクロン株の検出」や「ブレークスルー感染」等、心配な話題も聞こえつつありますが、我々にできることは、これまでと同じように感染拡大防止のための生活様式を守りながら、「うつらない・うつさない・差別しない」を守り続けることしかありません。

学校でも、気を緩めることなく感染拡大予防の指導を続けて参ります。ご家庭でも継続した取組をよろしくお願い致します。